



2020年 第3四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

2020年11月12日

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

1. 2020年第3四半期累計業績	・・・	2
2. 2020年通期業績予想	・・・	13
3. 期末配当予想について	・・・	18

1. 2020年第3四半期累計業績

2020年第3四半期におけるCOVID-19影響の回復状況と取り組み

市場環境

COVID-19影響直撃により需要が大きく下落した第2四半期に対し、第3四半期は新車用／補修用ともにグローバル全体で需要回復。

- PS/LT/TB : 欧米や中国で補修用を中心とした需要回復が顕著。一方で、日本は相対的にやや回復の遅れが見られる。
- 鉱山タイヤ : 鉱物によって鉱山稼働状況にばらつきあるも、全体として需要の弱含みが見られる。
- PSR-HRD : SUV, Light Truckの増加を背景とし、引き続き相対的な需要の強さが際立つ。(3Q販売は前年比増まで回復)

サプライチェーンの状況

- 第2四半期に一時休業を実施した各工場は全拠点で既に操業を再開しており、稼働率も段階的に回復。
- 各地域における時短操業／一部店舗閉鎖などの影響は概ね解消しつつある一方、各現場では引き続き、COVID-19感染リスクを最小限に抑えながらの営業を継続中。対面営業自粛など、現場活動への影響がまだ一部残る状況。

第3四半期の取り組み

- キャッシュオリエンテッド経営に基づく、危機管理下における徹底した経費・コストコントロールの実施。
- 「稼ぐ力の再構築」に向けた、経費・コスト構造改革の推進。
(南アフリカ・ポートエリザベス工場：11月での閉鎖を決定、フランス・ベチューン工場：9月より閉鎖協議を開始)
- 中長期事業戦略の実行体制構築を見据えた、独自のHRX計画策定。(経営執行体制、人事制度の刷新)

2020年第3四半期（7月～9月） 事業環境



為替

- USDは前年比円高、EURは前年比円安に推移
1USD=106円 1EUR=124円（参考）19年3Q 1USD=107円 1EUR=119円



原材料

- 天然ゴム/原油ともに、相場が下落した2Qから大きく上昇。
- 特に天然ゴムは、RSS#3がCOVID-19発生前を大きく上回る水準にて推移。



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- COVID-19影響が直撃した2Qから、大きく需要が回復。
- REP/OEともに回復基調。特にREPの回復が顕著。
(参考) 日本REPの前年比は、前年3Qに消費増税前の駆け込み需要が発生した影響から際立って低く出ているもの。

相場動向（平均価格）推移

	2019年		2020年		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
天然ゴム 〈TSR20〉※1（¢/kg）	135	137	133	111	128
天然ゴム 〈RSS#3〉※1（¢/kg）	159	154	158	138	175
原油 〈WTI〉（\$/bbl）	56	57	46	28	41

タイヤ需要（本数前年比）

	当社推定値				TBR			
	PSR		TBR		PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP	OE	REP	OE	REP
	3Q	9ヵ月累計	3Q	9ヵ月累計	3Q	9ヵ月累計	3Q	9ヵ月累計
日本	87%	78%	74%	82%	78%	85%	59%	74%
北米	93%	68%	105%	88%	77%	64%	102%	98%
欧州	89%	69%	97%	84%	90%	71%	98%	88%

※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

2020年第3四半期 タイヤ販売：対前年販売本数比

PSR/LTR

3Q 9カ月累計

	3Q	9カ月累計
グローバル	90%	78%
新車用タイヤ (OE)		
グローバル	88%	71%
日本	82%	77%
北米	98%	68%
欧州	93%	74%
中国・アジア・大洋州	82%	71%

補修用タイヤ (REP)

グローバル	92%	83%
日本	69%	78%
北米	100%	85%
欧州	106%	89%
中国・アジア・大洋州	98%	83%

TBR

3Q 9カ月累計

	3Q	9カ月累計
グローバル	87%	81%
新車用タイヤ (OE)		
グローバル	73%	65%
日本	76%	84%
北米	67%	58%
欧州	94%	70%
中国・アジア・大洋州	66%	63%

補修用タイヤ (REP)

グローバル	91%	87%
日本	58%	72%
北米	104%	98%
欧州	92%	87%
中国・アジア・大洋州	102%	85%



ORR

3Q 9カ月累計

	3Q	9カ月累計
超大型(REPのみ)	87%	87%
大型		71%
	OE	43%
	REP	77%
中小型		81%
	OE	68%
	REP	94%



PSR 18インチ以上

グローバル (REP)	102% (113%)	84% (98%)
-------------	-------------	-----------

2020年第3四半期累計（1月～9月）連結業績

（単位：億円）

【IFRS】

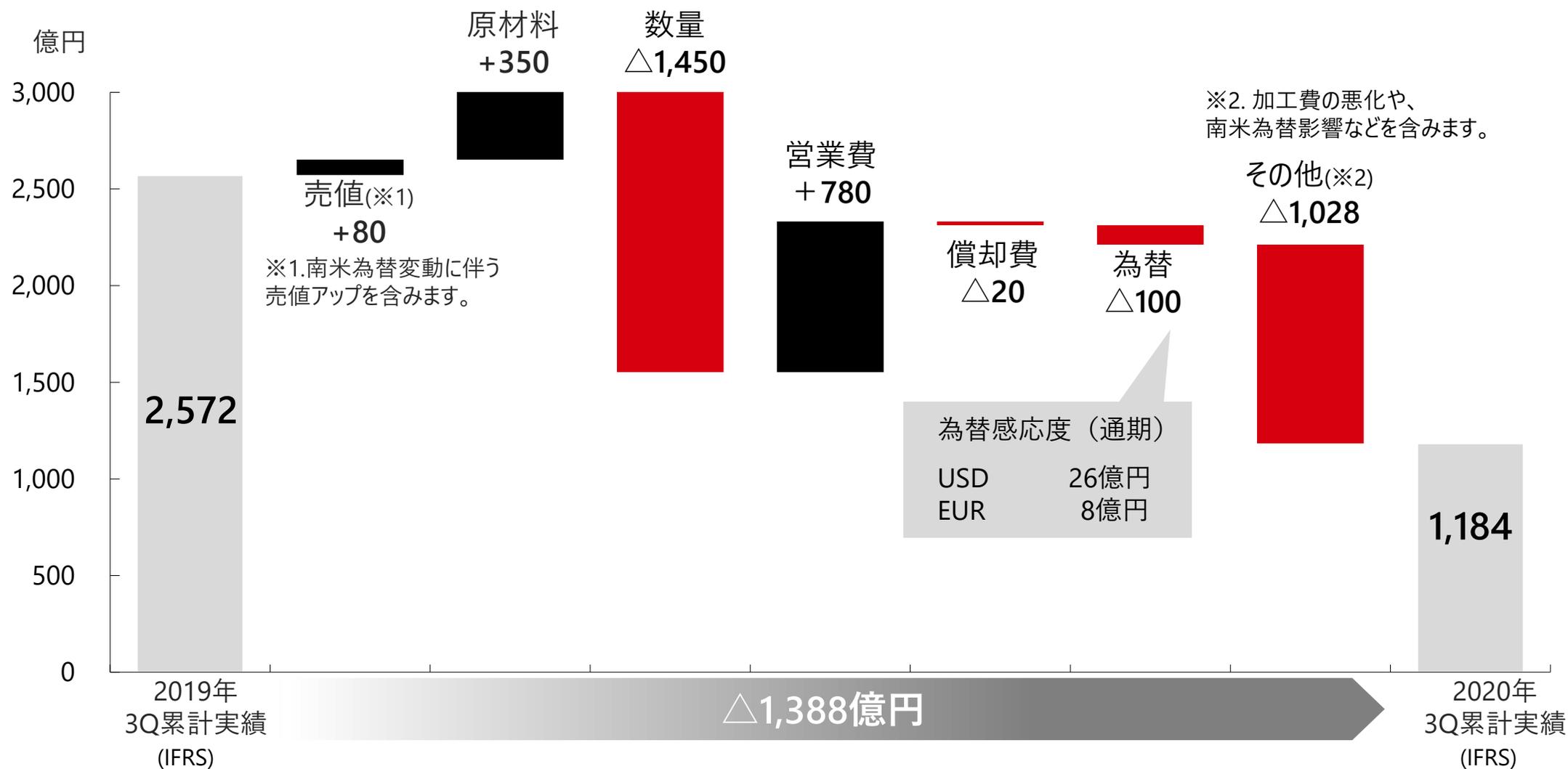
2019年
第3四半期累計実績

2020年
第3四半期累計実績

前年比増減
（%）

		上期累計	前年比増減 （%）	第3四半期	前年比増減 （%）		前年比増減 （%）
売上収益	26,237	13,555	△22	7,935	△10	21,489	△18
調整後営業利益	2,572	483	△68	702	△33	1,184	△54
利益率	9.8%	3.6%	△5.2pp	8.8%	△3.0pp	5.5%	△4.3pp
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,886	△220	-	△21	-	△241	-
USドル	109円	108円	△2円	106円	△1円	107円	△2円
ユーロ	123円	120円	△4円	124円	+5円	121円	△2円

2020年第3四半期累計（1月～9月）調整後営業利益増減要因：前年差



2020年第3四半期累計（1月～9月）セグメント別業績

（単位：億円）

【IFRS】

	2019年 第3四半期累計実績	2020年 第3四半期累計実績	前年比増減(%)
連結 売上収益	26,237	21,489	△18
日本	6,668	5,268	△21
米州	12,542	10,367	△17
欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	4,818	4,055	△16
中国・アジア・大洋州	3,528	2,868	△19
連結 調整後営業利益	2,572	1,184	△54
日本	758	263	△65
米州	1,407	875	△38
欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	145	△99	-
中国・アジア・大洋州	304	165	△45

2020年第3四半期累計（1月～9月）タイヤ事業 財別業績

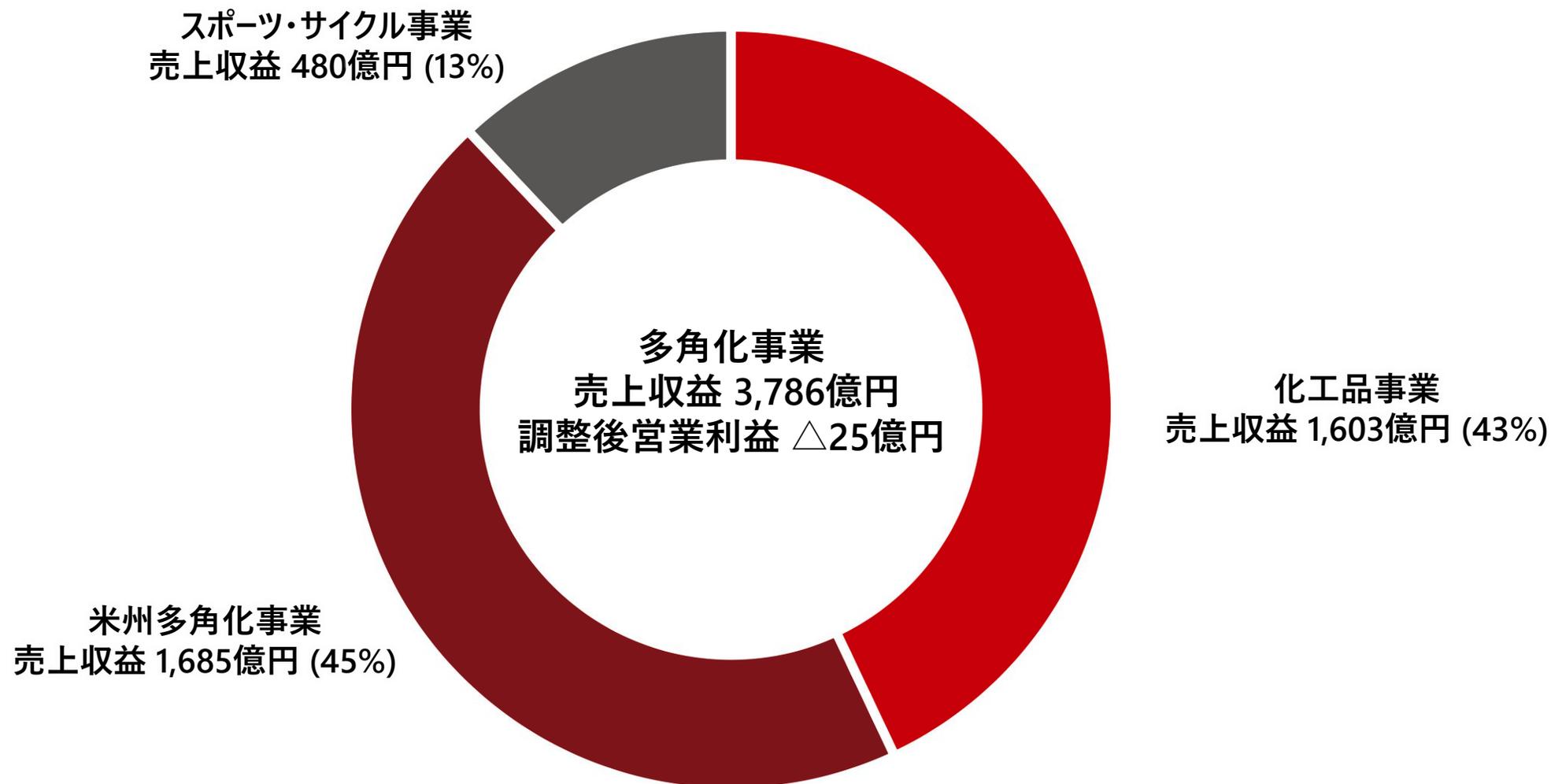
（単位：億円）

【IFRS】

		2019年 第3四半期累計実績	2020年 第3四半期累計実績	前年比増減(%)
 PS/LT ※小売・クレジットカード事業を含む	売上収益	12,521	10,180	△19
	調整後営業利益	1,244	543	△56
	利益率	9.9%	5.3%	△4.6pp
 TB ※リトレッド事業を含む	売上収益	6,005	4,722	△21
	調整後営業利益	721	332	△54
	利益率	12.0%	7.0%	△5.0pp
 Specialties (OR/AC/AG/MC)	売上収益	2,957	2,374	△20
	調整後営業利益	671	353	△47
	利益率	22.7%	14.9%	△7.8pp

2020年第3四半期累計（1月～9月） 多角化事業 業績

【IFRS】



2020年第3四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

【IFRS】	(単位：億円)	
	2020年 第3四半期末実績	対前年末
資産合計	41,116	△1,655
資本合計	21,756	△2,269
親会社所有者帰属持分比率	51.8%	△3.1pp
有利子負債〈ネット〉	3,815	△301
	2020年 第3四半期累計実績	対前年同期
営業CF	3,150	+181
投資CF	△ 1,417	+1,154
フリーCF	1,734	+1,335
設備投資	1,711	△419
減価償却費及び償却費	1,995	△19

2020年第3四半期累計（1月～9月）非経常損失

（単位：億円）

主な内容

調整項目	750	
減損損失	351	：中国TBR事業減損損失、ロシア事業減損損失
事業・工場再編費用	259	：海外工場閉鎖協議引当金、ユニットバス譲渡費用
COVID-19影響（政府・当局からの指示による直接的影響）※	140	
工場の操業停止影響	112	：工場操業停止期間中の固定費
販売店等の営業停止影響／イベント中止に係る費用	28	：販売店等の営業停止期間中の固定費 COVID-19によるイベントキャンセルに係る費用
持分法株式に係る減損損失	183	
TireHub株式減損損失	172	：主にCOVID-19での事業環境変化による減損損失

※「調整項目」に計上しているCOVID-19による影響は、「外部からの要請・指示」により発生した軽減余地のない直接的損失であり、それ以外のCOVID-19による業績悪化影響（販売・生産数量の減少、自主的な工場操業停止、操業時間短縮、出張自粛等の影響など）は含んでおりません。

2. 2020年通期業績予想

2020年通期 事業環境見通し



為替

- 4Q為替前提： 1USD= 105円、1EUR=124円
- 通期為替見通し： 1USD= 107円、1EUR=122円



原材料

- 4Q相場見通し：天然ゴムは大幅上昇、原油は3Q並みでの推移を想定。



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- COVID-19 第2波影響顕在化により、主に欧米で4Q需要の減速を見込む。
- 日本はREP/OEともに緩やかな回復を見込む。
- アジアでは中国/タイが回復基調。一方、インドネシアのCOVID-19影響大。

為替動向 通期見通し

	2019年		2020年	
	通期	上期	下期	通期
USD円	109	108	106	107
ユーロ	122	120	124	122

通期 タイヤ需要見通し (本数前年比)

	当社推定値	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP	
日本	85%	89%	84%	81%	
北米	74%	86%	70%	95%	
欧州	75%	87%	72%	84%	
アジア ※1	86%	87%	120%	95%	

※1 タイ・インドネシア・中国の3ヶ国計

2020年通期 タイヤ販売予想：対前年販売本数比

PSR/LTR

グローバル	80~84%
-------	--------

新車用タイヤ (OE)

グローバル	70~74%
-------	--------

日本	80~84%
----	--------

北米	75~79%
----	--------

欧州	75~79%
----	--------

中国・アジア・大洋州	70~74%
------------	--------

補修用タイヤ (REP)

グローバル	85~89%
-------	--------

日本	85~89%
----	--------

北米	85~89%
----	--------

欧州	85~89%
----	--------

中国・アジア・大洋州	85~89%
------------	--------

TBR

グローバル	80~84%
-------	--------

新車用タイヤ (OE)

グローバル	65~69%
-------	--------

日本	85~89%
----	--------

北米	60~64%
----	--------

欧州	70~74%
----	--------

中国・アジア・大洋州	60~64%
------------	--------

補修用タイヤ (REP)

グローバル	85~89%
-------	--------

日本	80~84%
----	--------

北米	100%
----	------

欧州	85~89%
----	--------

中国・アジア・大洋州	85~89%
------------	--------

ORR

超大型(REPのみ)	80~84%
------------	--------

大型	80~84%
----	--------

OE	55~59%
----	--------

REP	85~89%
-----	--------

中小型	80~84%
-----	--------

OE	70~74%
----	--------

REP	85~89%
-----	--------

PSR 18インチ以上

グローバル	85~89%
-------	--------

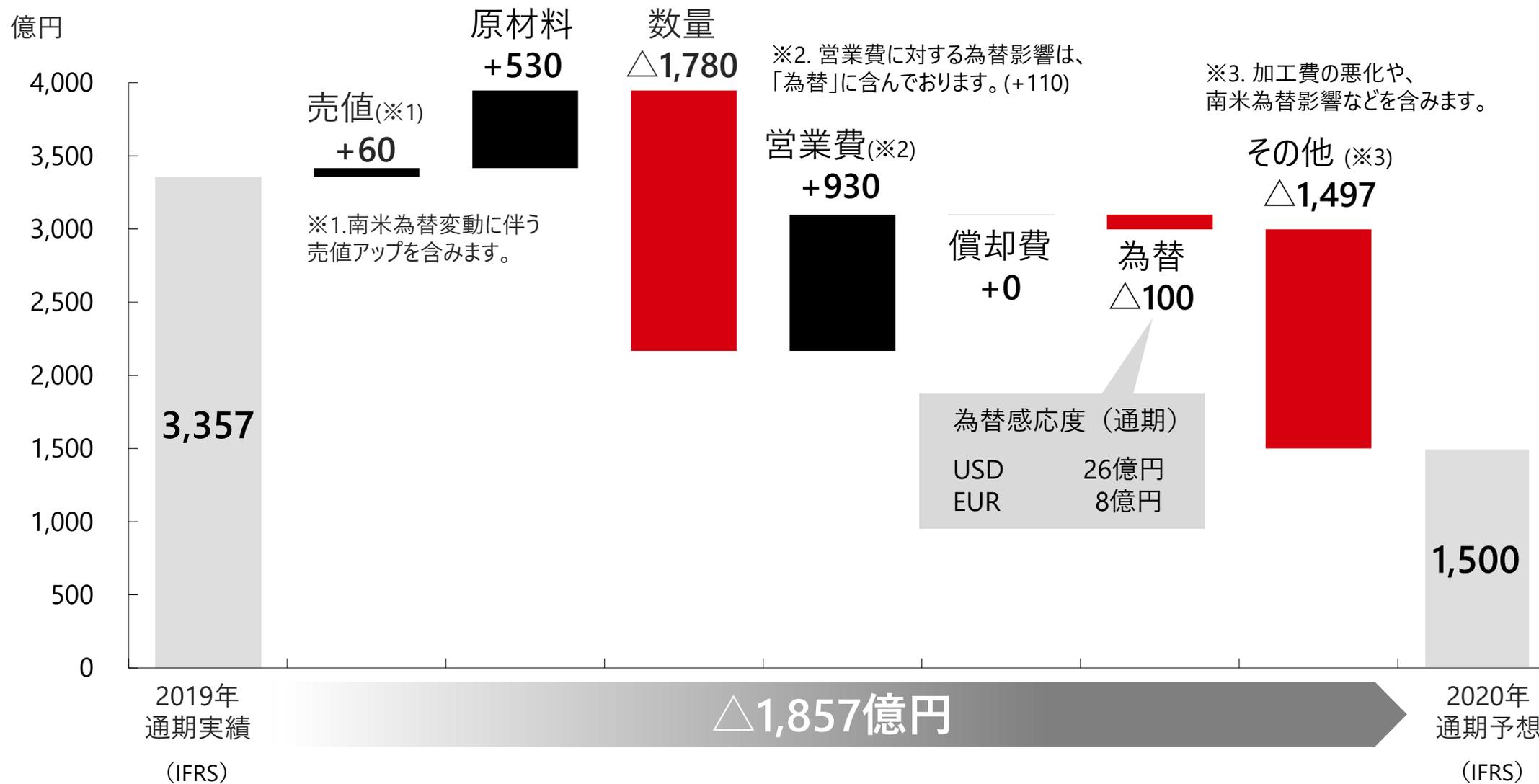
(REP)	(95~99%)
-------	----------

2020年通期 連結業績予想

(単位：億円)

【IFRS】	2019年 通期実績	2020年 通期予想	前年比増減 (%)	(参考 '20/8/7発表) 2020年通期予想
売上収益	35,072	28,900	△18	27,000
調整後営業利益	3,357	1,500	△55	1,000
利益率	9.6%	5.2%	△4.4pp	3.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,401	△600	-	未定
USDル	109円	107円	△2円	106円
ユ-ロ	122円	122円	±0円	119円

2020年通期 調整後営業利益増減要因予想：前年差



3. 期末配当予想について

期末配当予想について

株主還元の基本方針

- 利益配分については、①更なる成長のための投資に必要な内部留保を確保しつつ、②適正な財務体質の維持と③株主還元を図る。
- 配当については、当該期の業績、財政状態に加え、中期的な利益見通し、投資計画、キャッシュ・フロー等を総合的に勘案し、連結配当性向20-40%を目安に、安定した配当を継続的に実施する。

配当予想の修正

2020年通期業績予想における当期利益赤字化を踏まえ、下記の考え方で期末配当（予想）を決定。

- ① 成長投資：戦略上必要な優先投資は確保しつつも、今期の経費・投資を徹底的に抑制し、キャッシュ・フローを確保。
- ② 財務体質：足下で顕在化しつつあるCOVID-19第2波影響に加え、事業/生産拠点再編に関する今後の資金需要発生可能性などを考慮し、引き続き強固なキャッシュポジションを維持。
- ③ 株主還元：①、②を勘案した上で、中長期の「安定的な株主還元」に留意し、配当金額を決定。

		2019年度（実績）	2020年度	(参考 '20/8/7発表) 2020年度通期予想
< 配当予想 >	中間	80円	50円	50円
	期末	80円	55円	未定
	合計	160円	105円	未定



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。